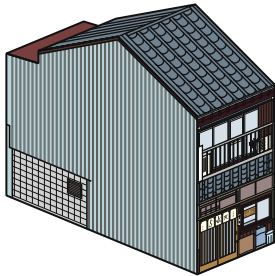


人形町 中山

S ≒ 1/300



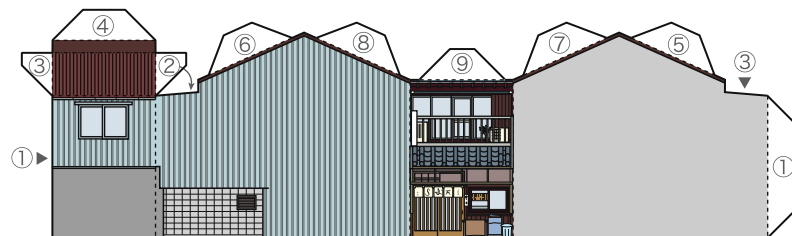
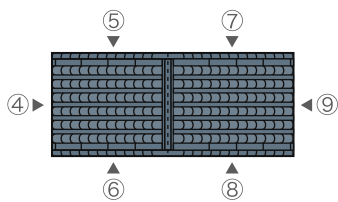
◆ 竣工年 | 不明

◆ 所在地 | 人形町1丁目

◆ 業種・用途 | 飲食店

人形町で3代続く天ぶら(中山)は、天ぶらの店としてのはじまりは昭和30年ごろ、それ以前は店先に鯨や烏賊、野菜揚げなどの惣菜を並べて売る店だったのだそうだ。
 カウンター正面の品書きの木の札に値段を明記し、また天ぶらは注文の品と数量を客自身が用紙に書いて渡すスタイルは、客の要望から生まれたアイデアだそうで、惣菜店だった頃の名残りともいえる。

瓦屋根の木造2階家は、2代目主人によれば建てられて70〜80年は経つのではないかとのことだから、昭和初年から10年ごろの普請になるだろうか。路地に面した小体な店構えが一見すると敷居の高い店なのではないかという印象をもつが、決してそうではない。



輪郭線を切りとり、「のりしろ」の番号順に組み立ててください。

山折り

谷折り